

新年特別号

- ◆主な内容◆
- ◆新春ミニ散歩 いけ福ろうめぐり…………… 4面
- ◆年始の休日診療・施設開設状況案内…………… 4面



宮脇昭さん(左)と高野区長(南池袋小学校で撮影)

かけがえのない緑を
次の世代に手渡すために

世界規模で環境への取り組みが求められている21世紀。豊島区は、区民の皆さんが心身ともに健康で暮らしやすい、環境と共生したまちづくりを進めています。新春にあたり、植生生態学者の宮脇昭さんをお招きし、「環境都市・豊島」をテーマに区長と対談していただきました。宮脇さんは、「ふるさとの木によるふるさとの森」の重要性を説き、企業や地方自治体と連携した植樹活動を行うなど、これまで世界中に三千万本の木を植えた方です。



新春のお慶びを
申し上げます



豊島区議会議員
吉村 辰明



豊島区長
高野 之夫

人と環境にやさしい
安心して暮らせるまちを創ります

豊島区は、人口をはじめ、都市機能や建築物、そして情報や交流など、様々な意味で高密度であることが活力と魅力の源になっている都市です。昨年11月、豊島区はついに人口密度日本一の都市となりました。大学の誘致や副都心線の開業などにより、池袋駅周辺の昼間人口や来街者も増加しつつあります。

もちろん、高密度であるが故の課題への対応も必要です。

区民の方や来街者の安心・安全はもとより、「環境都市づくり」の二年目にあたり、緑化をはじめ環境対策により一層力を入れ、高密度都市であることを誇れるような区の姿を、皆さまと一緒に創り上げてまいりたいと思います。

この一年の皆さまのご健康とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、今後とも、区政へのご協力をお願い申し上げます。

高野之夫



命を守るため森の回復を

区長◆宮脇先生、あけましておめでとーうございます。
宮脇◆あけましておめでとーうございます。
区長◆区では、昨年を「環境都市づくり・元年」と位置づけ、本格的な環境対策に取り組み始めました。2年目を迎える今年は、それをさらに前進させていきたいと考えています。そこで、世界中で森の再生に力を注いでこられた宮脇先生の力をお借りしたいと、昨年何回か先生のお話を聞かせていただきましたね。
宮脇◆区長室に飾られている豊島区の航空写真を見てみると、緑がほとんどありませんでした。鉄とセメント砂漠です。
区長◆ええ。一人あたりの公園面積が23区で最下位です。緑被率も下から教えた方が早いというのが現状です。
宮脇◆豊島区は世界の中でも、良い意味においては最も発展したところ、エコロジカルには最も危険な状態と言えるでしょう。しかし、環境への取り組みは、過密都市の豊島区だからこそやりがいがあると思いますよ。豊島区でやることは世界の大都市すべてに通じますから。
 では、なぜ森の再生が重要かということ、まずお話ししましょう。現代は物質的に恵まれた生活を

本物とニセモノを見分ける

をしながら、子どももおとなも、未来に確たる希望を持って不安を抱えています。我々はどうなにか科学技術を発展させても、森の寄生虫の立場でしか、この地球の上では持続的に生きていきません。実は寄主と寄生虫の間には、相手が弱ったら自分も少し我慢して生きるといふ微妙な共生関係が成り立っているんです。生物はお互いに競い合いながら、少し我慢して共に生きていく。40億年続いてきた命の歴史がそれを教えています。
 今、一番大事なことは、命を守ること。自分の命、愛する人の命を守るため、寄主にあたる森の回復・創造をしなければなりません。ローカルには防災環境保全に、グローバルには生物多様性と温暖化を抑制するトータルシステムがひとつのプロセスでできるのは、本物の多層の森をつくることです。それをぜひ、豊島区でやっていただきたいと思っています。

区長◆以前、先生にお会いしたときに、「本物とニセモノの見分けがつかない状況の中で『環境、環境』といったって無意味だよ」とおっしゃっていましたね。私はそのお話に非常に感銘を受けたのですが。
宮脇◆木ならなんでも植えればいいわけじゃない

るまちをめざして



豊島区長 高野之夫

木を植えることは心に木を植えること

んです。今、さかんに「緑化」などと言いますが、それは見かけ上の緑で、本物の緑があまりにも失われていきます。せっかくの空間にお金や労力を使うのですから、本物の、命を守り文化を守る森を作らなくては。
 では、本物とは何か。それは長持ちするものです。持続的な管理がいらす、500年、千年、あるいはそれ以上、次の氷河期まで9千年もつ森です。ですから、植える樹種は、その土地本来のトツプになる木と、それを支える木。できるだけ多くの種類を、自然の森の掟（おきて）で混植・密植することです。

区長◆今年、次の世代の環境教育も重要な課題として取り組もうと考えています。そこで、31校ある区立小中学校の周りに木を植えていこうと、先生の教えを受けながら準備を進めているところなんです。
宮脇◆そうですね。教育で一番大事なのは命の尊さ、素晴らしいことを教えることです。現代は、命の尊さ、はかなさ、厳しさが忘れられています。今生きていることは宇宙の奇跡で、40億年続いてきた遺伝子がよくも切れずに続いているからこそ、今の私たちの命があるわけです。小さな苗も本物は時間とともに育つんだということを、生（なま）の命に触れながら、理屈でなしに、全身に刷り込ませなきゃいけません。

防災に力を発揮するふるさとの森

私はこれまで全国の様々な小中学校の植樹に関わってきましたが、小学1年生の子が中学生になった時に、「あ、私が植えた木がこんなになった」と、先生と一緒に手をあげて本当に喜びます。それが命の教育であり、ふるさと愛なんですね。
区長◆子どもたちが地域を愛する気持ちを持つのは大切なことです。そして、子どもたちが植えた木を、家族や地域の人が見守り応援していく、それが地域力にもつながるといいます。
 木を植えるということは本当にいろいろな面で素晴らしい効果をもたらしてくれるんですね。その人の一生の記念になり、木が育っていく姿を見ながら自分も育ち、そこに愛情もわいてくる。区の子どもたちは、区に育って、区をふるさととして世界にはばたくわけですから。おとなになっても母校を訪れた時に、自分の植えた木が大きな木に育った姿を見てどう思ってくれるか、とても楽しみです。
宮脇◆はい。木を植えるというのは、小手先の技術ではなくて、命を植えること。明日を植えること。そして心に木を植えることです。

区長◆小中学校に木を植えることは、災害時に避難する場所の防災機能を高める点でも意味があるんです。阪神淡路大震災では、土地本来の主木であるカシ類は一本も倒れずに延焼を防ぎ、山形県酒田市で約千700戸が全焼した大火でも旧家の2本のタブノキで火が止まったという実例があるんですよ。
宮脇◆関東大震災でもそうした記録は残っています。もし今晩、直下型地震が来たら何処へ逃げ込むか。歩いて行けるのは各地域にある学校ではないでしょうか。ですから、道沿いにも、町の中のビルにも一列でもいいから火防木になる木を植えてほしい。高木を中心とした立体的な森は、幅1メートルあれば十分です。ですから、私は「植えるところがない」なんて言わせませんよ。日本語はうまくできています。3本植えれば森ではないですか（笑）。
区長◆5本あれば森林になりますね（笑）。面積の狭いところでもできるということは、豊島区でもできますよね。できることから始めていかなければ。

新春

トレードマークの麦わら帽子姿で木を植える宮脇さん



みんなで木を植えるのは楽しいね(青森県八戸市にて)



- ① 横浜国立大学の周りに木を植えた直後の様子
- ② 5年後には高さ4mにまで成長
- ③ 15年後には立派な森に!



■宮脇昭(みやわき あきら)さんプロフィール

1928年岡山県生まれ。植物生態学者。広島文理科大学卒業。ドイツ国立植生園研究所で潜在植生理論を学び、現在は横浜国立大学名誉教授、(財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター長。約10年かけて日本全国を巡り、潜在的な自然植生を調査してまとめた『日本植生誌(至文堂)』ほか著書多数。



南池袋小学校 1年生の教室にて

本物の緑あふれ。



宮脇昭

植物生態学者

子どもたちがつくる命の森・植樹祭

宮脇 皆さんの戸建て住宅の周りにもぜひ植えてほしいですね。隣家との境がブロック塀でしたら、話し合っただけで30センチずつ出し合えば60センチ幅の高生垣ができます。コンクリートの壁が倒れて人が怪我をしたことは過去の地震でも問題になりました。しかし何より、皆さんが夕方疲れて帰ってきた時に、自分の庭に植えた緑を見ながら英気を養って次の日働くという憩いの場所となるのではないのでしょうか。

区長 ◆今、区では高層ビルがさらに増え、人口も増加しています。昨年の11月1日時点で、人口密度日本一になりました。まちが発展すればするほどCO2を出して、環境への負荷が大きくなる。このまま次の世代へツケを残してはいけませんから、環境意識を持ちながらまちづくりをすることが重要です。そうした中で、緑をどうしていくかというのは区として最大のテーマです。

宮脇 ◆環境を守るとは命を守ること。人間しか持つていない知性、感性を持って文化を創造する心、遺伝子を残す、その環境を守ることなんです。区長 ◆4月28日から、すべての区立小中学校で行う「子どもたちがつくる命の森・植樹祭」は、教育委員会・清掃環境部・土木部の3つのセクションがひとつになって行います。区をあげて、私たちが本気になって行う取り組みが成果を上げること、区民の皆さんに思いが伝わって、みんな



ワンガリ・マータイさん(写真左。ケニア出身の環境保護活動家。2004年にノーベル平和賞受賞)と

よりよいまちにしていこうという形になれば本当に素晴らしいし、楽しいことだと思います。

宮脇 ◆人生というのは楽しいんですよ。今生きているより幸福なことはいくらでも。その楽しさを子どもたちに教えるのは、同じ命を持つて生きている小さな苗が雨にも風にも日照りにも耐えて懸命に生きている姿。その命の尊さを、ぜひ先生方が共に木を植えながら教えてほしいですね。そして、たいがいイベントは一度やればそれで終わりですけども、木を植える植樹祭というのは、その日から永遠に幕の閉まらない命のドラマの幕開けなんです。

区長 ◆そうですね。区民が主役で本物の木を植えて、未来へ。本物の環境を作る豊島区にしていかなければならないと思います。2年目を迎えた環境都市づくりとして、まさに総力をあげてやらなければいけません。

宮脇 ◆それはぜひとも。そして、命を守る森づくりを全世界に広げるための世界のモデル都市になつてほしい。そして国際植樹祭、国際シンポジウムをこの豊島区でやりませんか。

区長 ◆そうですね。4月の大植樹祭を展開したら、5月の30日、31日には環境問題でシンポジウムを行います。そして将来的にはそうした国際会議ができるように。「豊島区ならではの環境対策」を、未来の子どもたちが笑顔で暮らせるよう、本物の取り組みとして進めていきたいと思います。先生、これからもぜひご教授よろしくお願ひします。今日はありがとうございました。

新春ミニ散歩

いけ福めぐり

池袋駅周辺のあちこちで、ふくろうのオブジェを見ることが出来ます。福を呼ぶ縁起のいい動物「ふくろう」を探して新年のまさを歩いてみませんか。

1 池袋西口公園 (西池袋1-8-26) 東京芸術劇場の前、噴水の傍らに立つ背の高いオブジェのうちのひとつに、ふくろうの像があります。リリしい姿で、まるで森の中から見おろしているようです。

2 元池袋史跡公園(通称「泉の樹公園」) 西池袋1-9-12) 小さな公園ですが、池袋の由来になった丸池があり、特に区とはゆかりの深い場所です。「泉の樹モニュメント」や、ふくろうのタイル絵が飾られています。

3 中池袋公園 (東池袋1-16-1) 2冊の本の上に 乗った「杜のふくろう」。 りんとした姿は、さすが知恵の神様といった雰囲気をもたえています。

4 グリーン大通り 東口交番の目の前の中央分離帯に、3羽のふくろうが。

5 御嶽神社 (池袋3-51-2) 西口一帯の氏神様です。最近では苦勞を取り除く=不苦勞(ふくろう)の神様として信仰を集めているようです。

7 祥雲寺 (池袋3-1-6) 要町駅のほど近くにあるお寺の山門横に、小首をかしたかわいらしいふくろうがいます。

6 立教大学5号館横 (西池袋5-10) 旧江戸川乱歩邸(立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター)への道しるべとして、大学の角に建っています。

6 池袋駅東口交番 (西池袋1-27-7) 明治通り沿いへの移転を機に、小中学生から募集した4点の作品を元に建てられました。

年始の休日診療(1月1日~4日)

圏地域保健課管理係 ☎3987-4203

受診の際は、健康保険証を必ずお持ちください。(当日健康保険証がない場合は全額負担していただき、後日清算となります)

Table with 5 columns: 診療機関, 診療日, 所在地・電話番号, 受付時間. Lists medical services for Jan 1-4.

● 平日夜間に診療している「豊島こども救急クリニック」(南大塚2-8-1 都立大塚病院内)は、1月1日から4日まで診療を行いません。

<医療機関案内>

Table listing medical facilities: 東京都保健医療情報センター, 東京消防庁, 豊島消防署, 池袋消防署.

施設などの開設状況

圏総務係 ☎3981-4451 (1月1日~4日の間は区役所代表 ☎3981-1111へ)

Table listing facility openings: 区役所, 区民集会所, 児童館, 図書館, etc.

Table listing facility openings: 保健・福祉・教育施設, 文化施設, 体育施設, 観光・公園施設.

Table listing facility openings: 土木事務所, 公園管理事務所, 放置自転車対策事務所, etc.